

令和8年度前期 全学共通科目 授業アンケート

作成部局 国際高等教育院
回答期間 2026.07.06-2026.08.18
結果の公開期間 2026.10.01-2026.11.30

科目名	区分	開講期	単位
金5 ILASセミナー：スケールの科学ーゴジラやBMIから国会まで（趙 亮）	少人数教育科目群	前期	2

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

全学共通科目 授業アンケート

このアンケートは、授業について皆さんの率直なご意見を聴き、授業・教育環境の改善に役立てるものです。
集計結果については、分析のうえ匿名で担当教員に伝えますので、正直に、できるだけ建設的で責任ある回答をしてください。
アンケート集計結果は、3/23（月）～4/30（木）にアンケートシステム上で公開します。
皆さんのご意見が、教育の質を高める大きな力となります。授業に関する率直な評価と具体的かつ前向きなご意見をお聞かせください。

シラバス

Q1 シラバスの情報と実際の授業が異なっていた場合、そのことについて教員から十分な説明がありましたか？

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

設問形式 ラジオボタン

1 ①十分あった 1票 / 11%	2 ②ややあった 0票 / 0%	3 ③あまりなかった 0票 / 0%
4 ④全くなかった 0票 / 0%	5 ⑤わからない（判断できない） 0票 / 0%	6 ⑥該当なし（シラバス通りに授業は実施された） 8票 / 89%
全9票		
1 6		
11% 89%		

学習時間

Q2 この授業に出席した割合を記載してください。

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

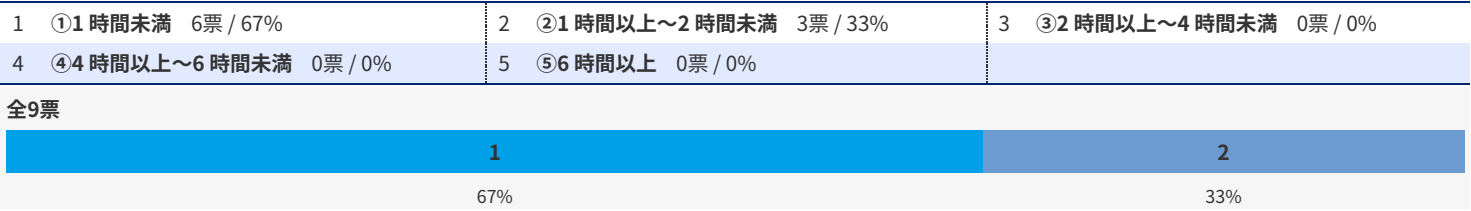
設問形式 ラジオボタン

1 ①9割以上出席 9票 / 100%	2 ②7割以上～9割未満出席 0票 / 0%	3 ③5割以上～7割未満出席 0票 / 0%
4 ④2割以上～5割未満出席 0票 / 0%	5 ⑤2割未満出席 0票 / 0%	
全9票		
1		
100%		

Q3 この授業に係る予習・復習、宿題・課題等を行った合計の時間（90分授業1回当たりの平均値）を記載してください。

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

設問形式 ラジオボタン

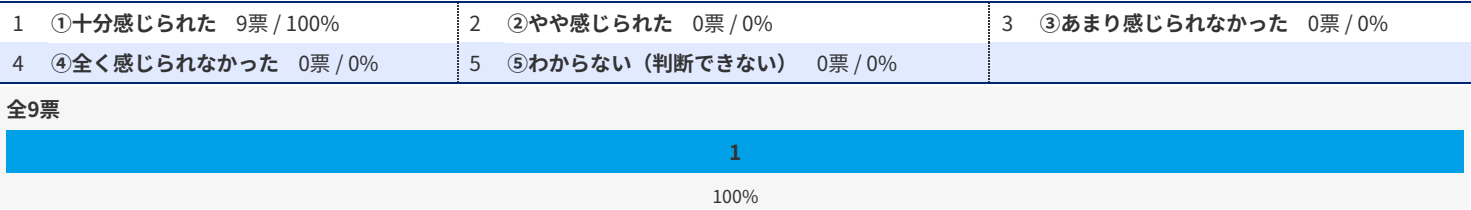


授業の内容・方法等

Q4 授業内容を理解しやすいように教え方に工夫が感じられましたか？

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

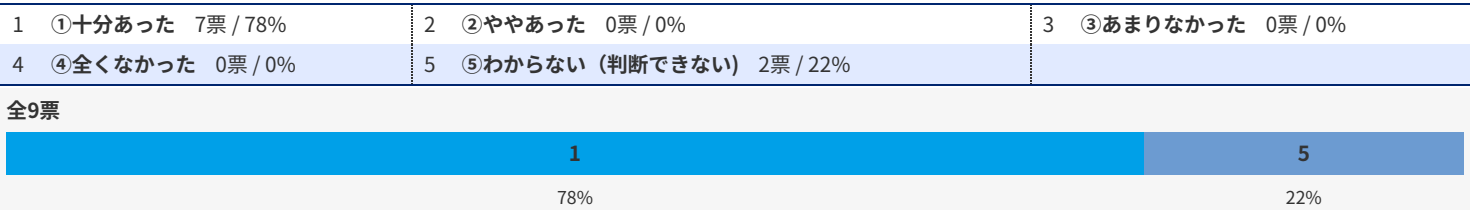
設問形式 ラジオボタン



Q5 予習・復習等の授業時間外に行う学習について説明がありましたか？

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

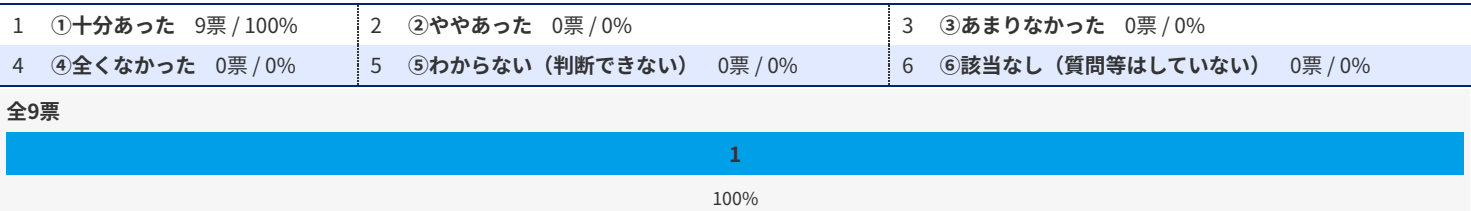
設問形式 ラジオボタン



Q6 授業内外における質問等に対して、教員からの適切なフィードバックがありましたか？

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

設問形式 ラジオボタン

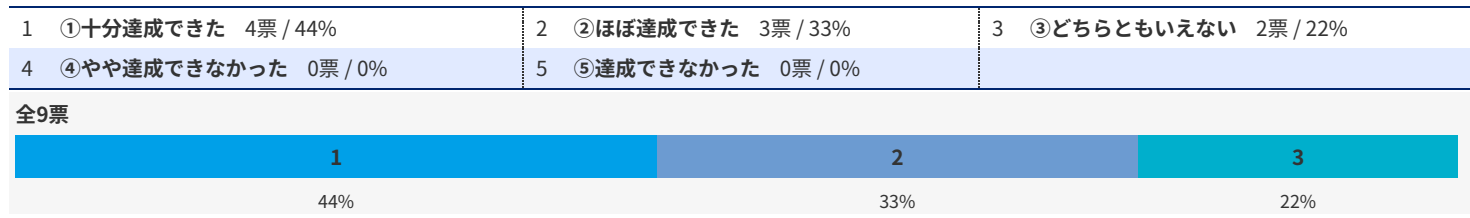


「学習の達成度」に関する学生の自己評価

Q7 この授業の到達目標を達成できたかどうか、ご自身の判断を以下より1つ選択してください。

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

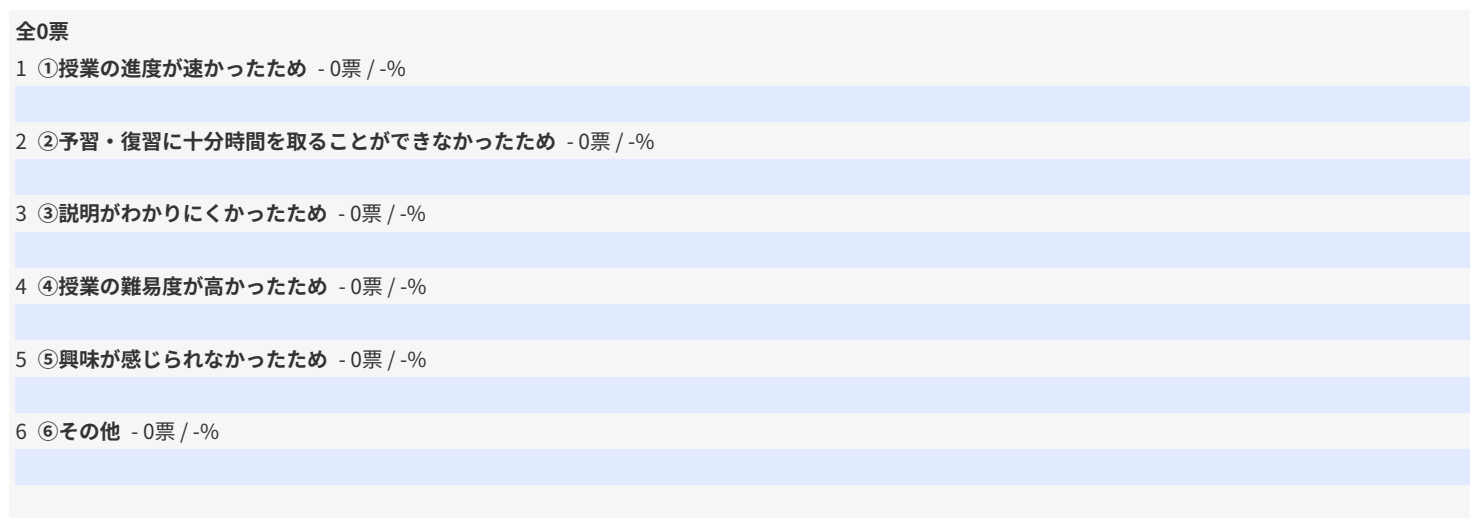
設問形式 ラジオボタン



Q8 Q7で授業の到達目標を『④やや達成できなかった』又は『⑤達成できなかった』と回答した場合は、達成できなかった理由を、以下より全て選択してください（複数選択可）

対象者数：9人 回答者数：0人 回答率：0.0%

設問形式 チェックボックス



Q9 効果的だった学習活動（例：予習・復習、グループ討論又は発表など）があれば、自由に記載してください。

対象者数：9人 回答者数：4人 回答率：44.4%

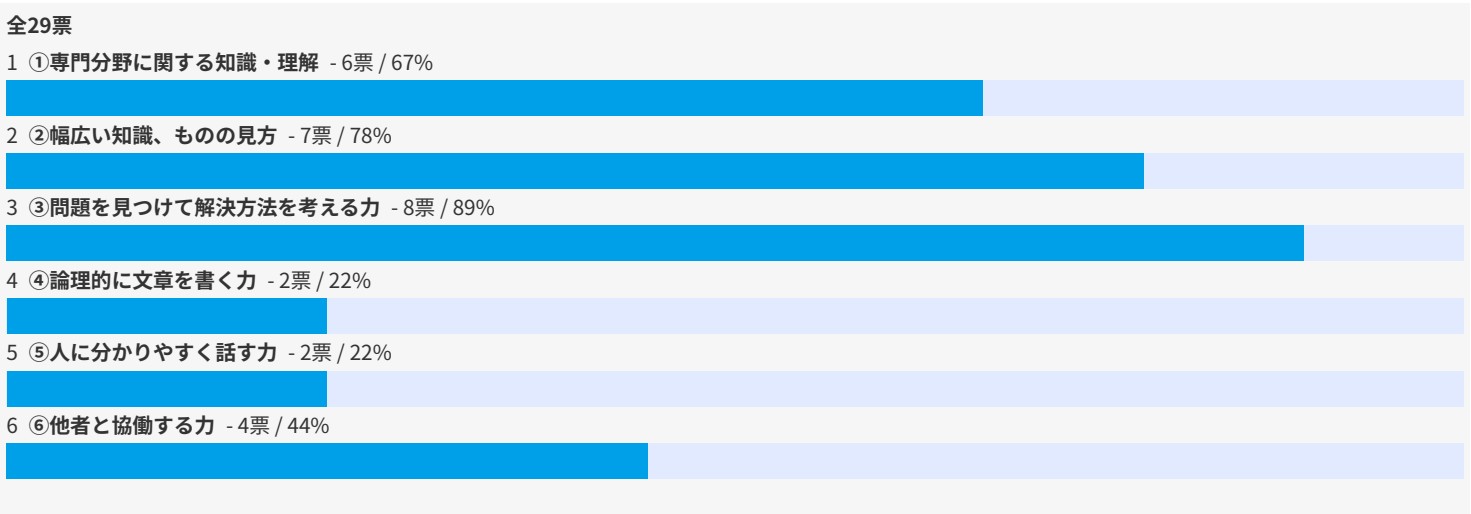
設問形式 テキスト

- Rの実際の操作
- 発表会はRと統計学について実践的に理解するのに役立った。
- 中間発表を通して分析の流れを確認したことで最終発表では段取りに疑問を持つことなく研究の部分に集中できたので良かった。
- 実際に自分でコードを打ち込み分析を行ったこと。

Q10 この授業を通じて身についたものを、以下より全て選択してください（複数選択可）

対象者数：9人 回答者数：9人 回答率：100.0%

設問形式 チェックボックス



授業全般

Q11 この授業の良かった点を自由に記載してください。

対象者数：9人 回答者数：5人 回答率：55.6%

・Rによる統計分析
・懐疑的・批判的視点の養成

設問形式 テキスト

- Rを実際に操作して分析ができたこと。世の中にある多くの指標を批判的にみる能力がついたこと。
- 指標が何を示しているのか、何と対応しているのか、それを使ってどういった比較ができるのかというのは、単純なようで実はよくわからない要素が多いあるという新たな知見を得ました。
- Rを毎授業使うので分析手法が身につきました。
- 普段当たり前のように用いている統計的指標について、懐疑的に考える姿勢を養うことができた。また、制作などの数値設定をする側に立った時、設定をするプロセスを学ぶことができた。
- この授業を受けるまでは力≒体重という仮定に疑問を抱いたことはなかったが、教授が非常にわかりやすく説明してくださったおかげで新たな軸の批判的視点を持つことができた。最初から最後まで非常に興味深く、特に最終発表は自身の研究も他グループの発表も非常に楽しかった。

Q12 この授業の改善してほしい点を自由に記載してください。

対象者数：9人 回答者数：4人 回答率：44.4%

設問形式 テキスト

- グループ発表の準備時間を増やしてほしい。
- 数式などの解説で前のホワイトボードを使うことが時折ありましたが、色も薄く、すぐ前に座っている人以外は見えなかったです。また、中間レポートまでテーマが引き伸ばされていた一方、後半は駆け足のように感じました。もう少し中間レポートが早くても良いと思います。
- Rをもう少し高度に使えると、発見が増えるかもしれない。統計学の授業とセットで取らせた方が良かったと思った。
- 身長と体重の関係について扱う時間が長いように感じた。一票の格差や議席数の問題は興味があったのでもう少し扱う時間を増やしてほしい。

グループ発表の準備は中間と期末とそれぞれ一回ずつありますが、それでも足りなかったですね。う～ん、講義を削ると授業内容が少なくないかと心配です。来年は、とりあえず課外でも準備するよう勧めてみます。

教室ペンのことは本当に申し訳ない。今後は持参するようにします。前半ゆっくり後半速くと設定したのは、慣れていない学生を考えたためですが、問題なさそうなら見直します。重要なフィードバックありがとう！

担当教員追加設問

Q13 担当教員からこのアンケートに追加する質問が示された場合は、この欄に回答してください。

対象者数：9人 回答者数：0人 回答率：0.0%

設問形式 テキスト

- この設問に対する回答はありませんでした。

ぜひRを使いこなしてください。
また、わたしはセットとなる統計学の授業を出していないのですが、興味があるならご自身でとってくださいよ。難しいと思いますが、ためになります(たぶん)。

